

大阪支部だより

菰下鋸断で工場見学会を開催

全国厚板シェアリング工業組合大阪支部（支部長・木村秀明(株)日鉄神鋼シャーリング社長）は17日、(株)菰下鋸断（大阪府貝塚市、菰下千代美社長）本社工場で工場見学会を開催した。

大阪支部は「現場の知恵の交流」を目指して、今年から工場見学会を開催しており、今回が2回目。支部会員から11社・約40人が参加した。

菰下社長の挨拶後、工場見学会がスタート。見学会は歩留まり向上を目指した端材の有効活用の取り組み、板厚1000ミリの加工実績のある極厚溶断設備などを見学。独自のトーチを用いて溶断面に生じる湯玉がないガス溶断設備について関心が集まった。

又、厚板溶断業では珍しい熱処理炉も見学。同社の熱処理設備は焼きならし（マルN）、焼きなまし（マルA）の工程で、すでにJIS認定取得を目指している。

見学会終了後、質疑応答が行われた後、木村支部長は「当業界は今日から変えるという姿勢が必要な環境にある。見学会で得たことを是非今日から役立ててほしい」と述べた。

（11/19付け鉄鋼新聞より記事全文を転載）